

# 平成27年9月関東・東北豪雨災害の概要

国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会 第1回資料より抜粋

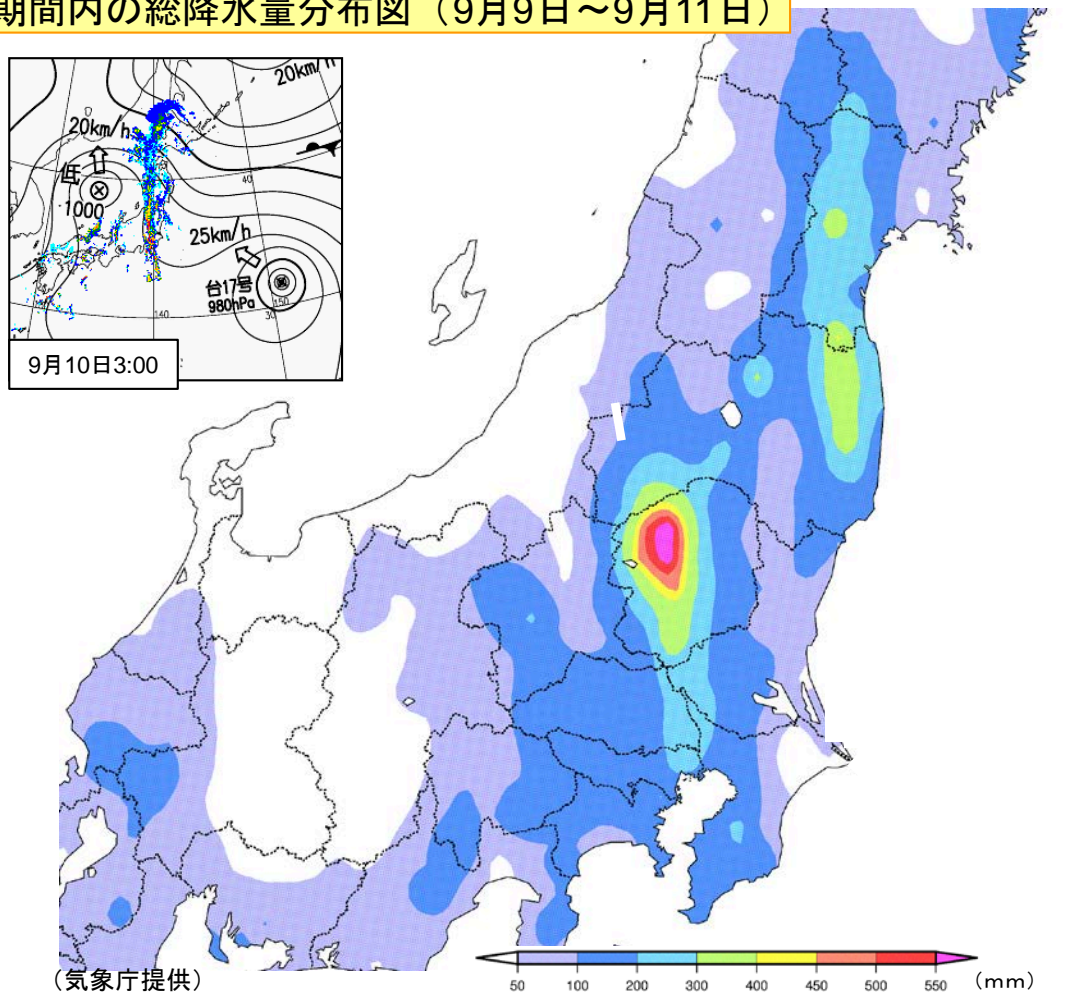
平成27年11月17日  
水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ(第1回)

# 平成27年9月関東・東北豪雨について

○台風第18号及び台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となった。

○9月10日から11日にかけて、関東地方や東北地方では、統計期間が10年以上の観測地点のうち16地点で、最大24時間降水量が観測史上最多を更新した。

期間内の総降水量分布図（9月9日～9月11日）



24時間降水量が観測史上最多を更新した観測地点

	都道府県	市区町村	地点名	降水量 (mm)
①	宮城県	栗原市	鶯沢 (ウグイザワ)	194.5
②	宮城県	加美郡加美町	加美 (か)	238.0
③	宮城県	仙台市泉区	泉ヶ岳 (イシガタケ)	293.0
④	宮城県	刈田郡蔵王町	蔵王 (ザウ)	180.5
⑤	福島県	南会津郡南会津町	南郷 (ナコウ)	161.5
⑥	福島県	南会津郡南会津町	館岩 (タノイ)	262.0
⑦	茨城県	古河市	古河 (カ)	247.0
⑧	栃木県	日光市	五十里 (イカリ)	551.0
⑨	栃木県	日光市	土呂部 (トロボ)	444.0
⑩	栃木県	日光市	今市 (イマイ)	541.0
⑪	栃木県	鹿沼市	鹿沼 (カヌ)	444.0
⑫	栃木県	宇都宮市	宇都宮 (ウツノミヤ)	251.5
⑬	栃木県	佐野市	葛生 (カスウ)	216.5
⑭	栃木県	栃木市	栃木 (トチキ)	356.5
⑮	栃木県	小山市	小山 (オヤマ)	268.5
⑯	埼玉県	越谷市	越谷 (コシガヤ)	238.0

# 平成27年9月関東・東北豪雨における被害の状況

- 宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消するまでに10日を要した。
- 避難の遅れ等により、多くの住民が孤立し、約4,300人が救助された。

## 鬼怒川下流域における一般被害の状況

項目	状況等
人的被害	常総市 (死亡2名、重症2名、中等症11名、軽症17名)
住家被害	常総市 (全壊50、大規模半壊914、半壊2,773、床下浸水2,264) 結城市 (半壊11、床上浸水38、床下浸水155) 筑西市 (大規模半壊68、半壊3、床下浸水18) 下妻市 (大規模半壊1、床上浸水58、床下浸水106) つくばみらい市 (半壊13、床上浸水1、床下浸水21)
救助者	ヘリによる救助者数 1,339人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯, 31,398人 ②避難勧告 990世帯, 2,775人 (※9月29日16時現在)
避難所開設等	避難者数 1,786人 (市内避難所 840人, 市外 946人) (※9月18日11時現在)

(茨城県災害対策本部 10月22日16時以前の発表資料より常総市等、関連を抜粋)



屋根からヘリコプターで救助される人  
毎日新聞社



常総市役所から駐車場を撮影(撮影日: 9/11)  
周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。



自衛隊員にボートで救出された人たち

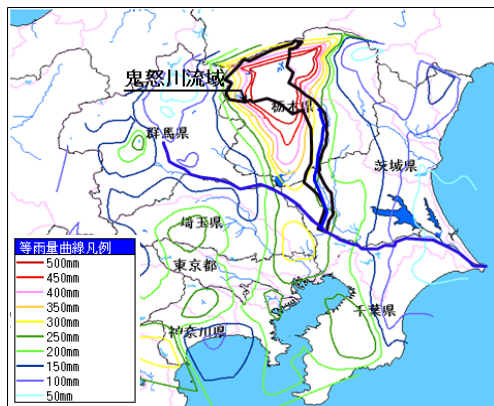
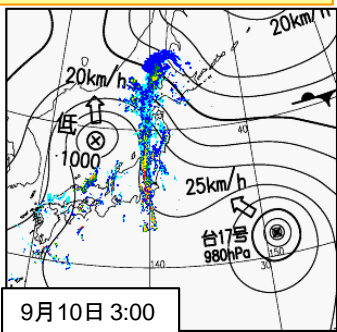
毎日新聞社



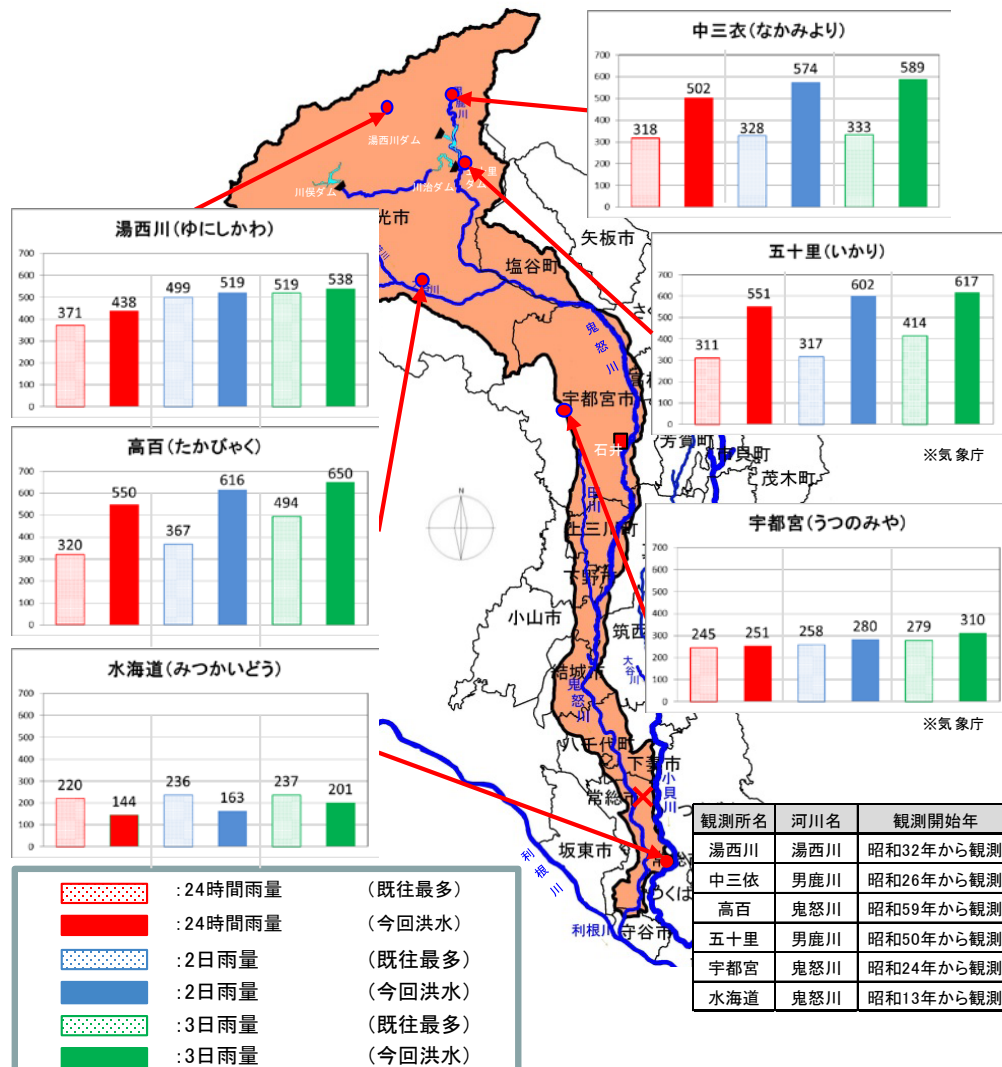
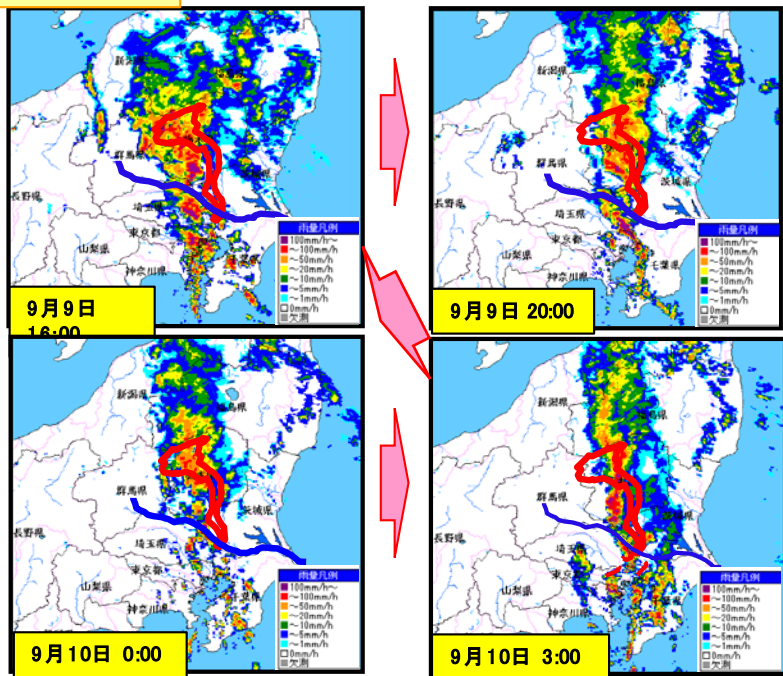
# 鬼怒川における平成27年9月関東・東北豪雨の概要

○ 9月9日から9月10日にかけて、栃木県日光市五十里(いかり)観測所で、昭和50年の観測開始以来最多の24時間雨量551mmを記録するなど、各観測所で観測史上最多雨量を記録した。

## 気象・降雨の概要



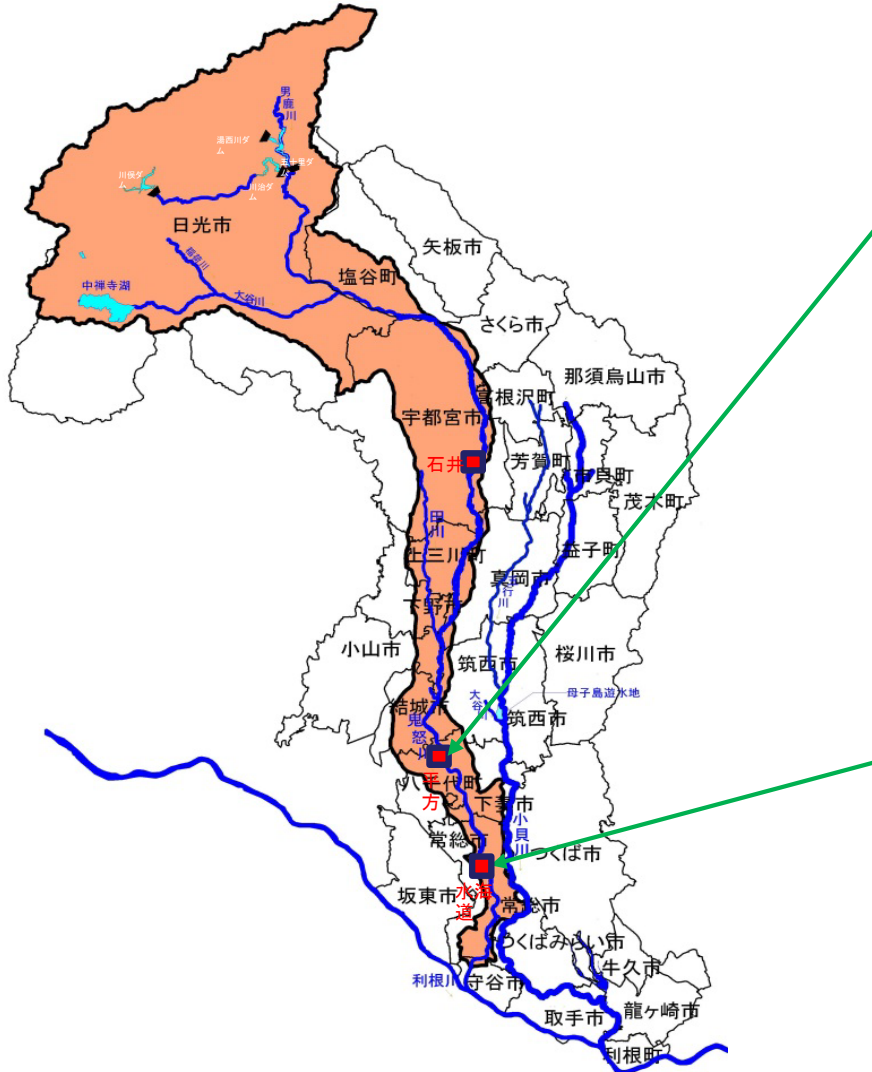
## レーダ雨量図



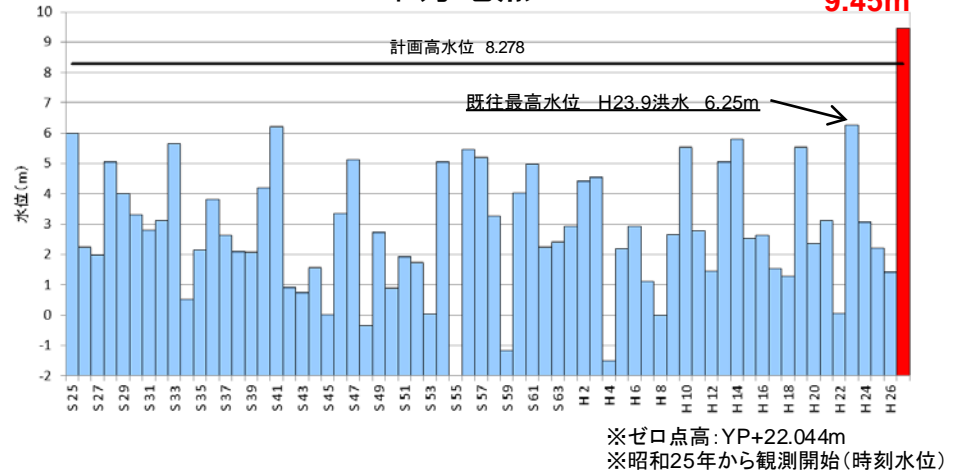
※平成27年9月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります。

# 河川の水位(過去の洪水との比較)

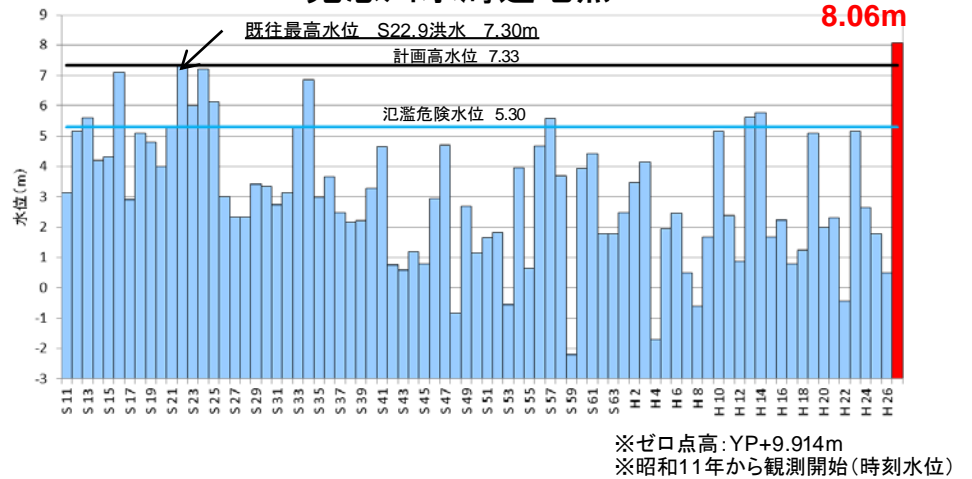
○ 鬼怒川水海道地点及び平方地点において、計画高水位を超過し、観測史上最高水位を記録した。



## 平方地点



## 鬼怒川水海道地点



※氾濫危険水位は最新の設定水位を記載。  
※平成27年9月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります。

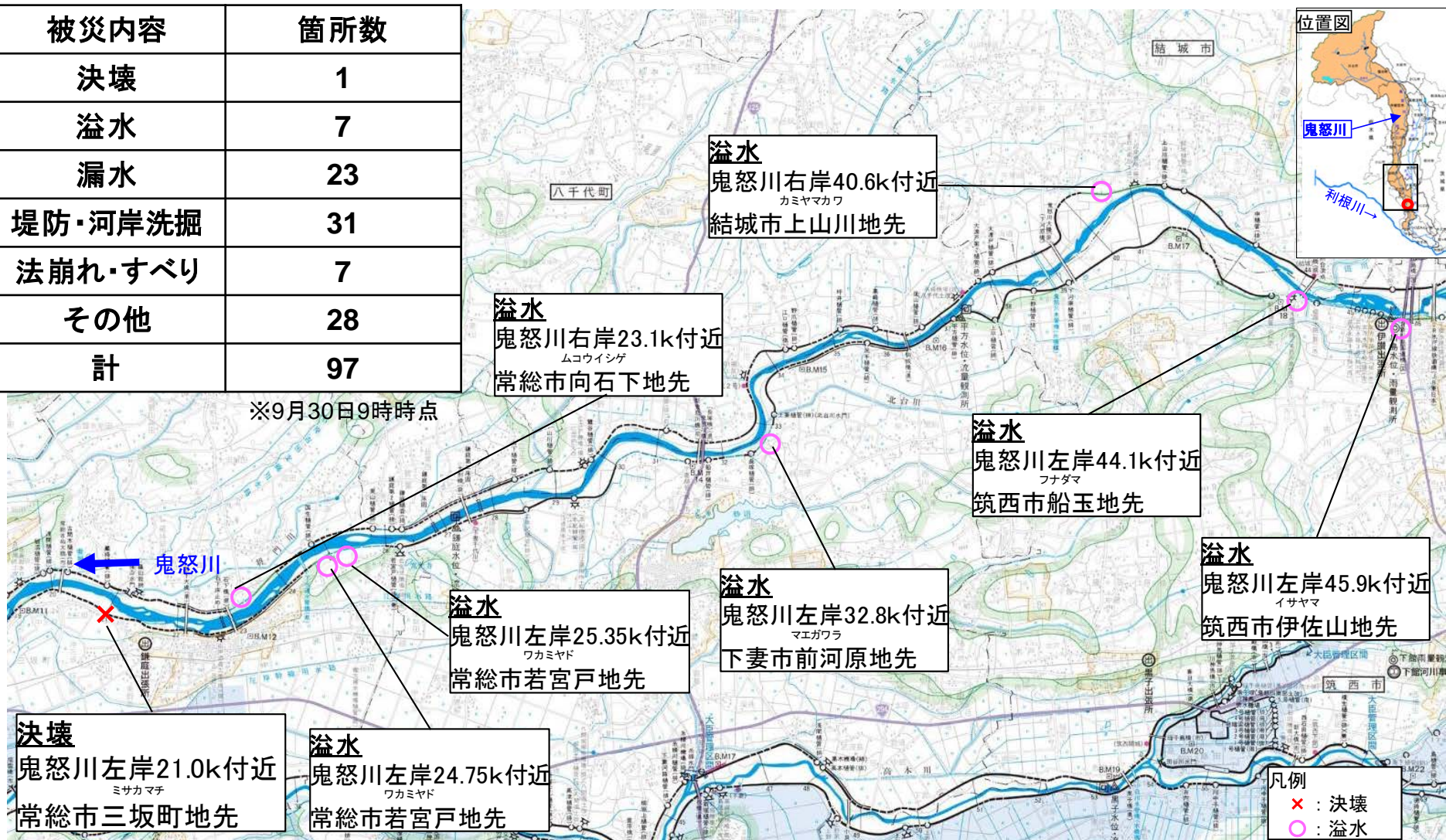


# 鬼怒川における被災箇所

○ 河川の流下能力を上回る洪水となり、常総市三坂町地先（左岸21.0k）で堤防が決壊し、若宮戸（わかみやど）地先（左岸24.75km）で溢水するなど多くの被害が発生した。

## ＜鬼怒川全体の被災数＞

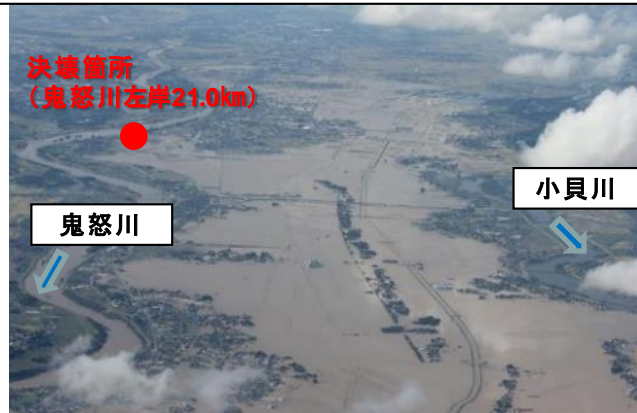
被災内容	箇所数
決壊	1
溢水	7
漏水	23
堤防・河岸洗掘	31
法崩れ・すべり	7
その他	28
計	97



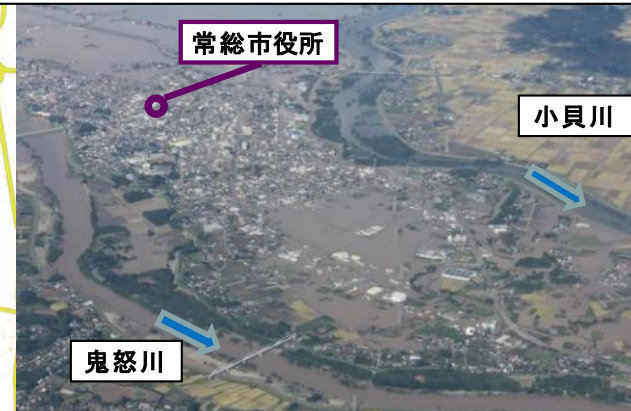


# 鬼怒川の氾濫による浸水状況

○ 常総市三坂町地先（鬼怒川左岸21.0km付近）における堤防決壊等に伴う氾濫により、常総市の約1/3の面積に相当する約40km<sup>2</sup>が浸水し、常総市役所も孤立した。



【決壊地点近傍】家屋等の流出状況（撮影日：9/11）



常総市役所から撮影（撮影日：9/11）

- : 氾濫域の最大総浸水面積 (40km<sup>2</sup>)  
国土地理院公表資料
- : 決壊箇所  
鬼怒川左岸21.0km
- : 浸水範囲内の建築物



# 水防活動の状況

- 平成27年関東・東北豪雨では、各地において水防活動が実施された。
- 多くの箇所、河川堤防周辺の漏水、溢水、内水氾濫が生じたほか、避難の呼びかけや誘導等も実施する必要があったため、全ての箇所ですのう積み等を実施することはできていない。

## ＜水防活動の実施状況＞

茨城県：21市町、延べ6,552名

栃木県：21市町、延べ10,079名

宮城県：8市町、延べ2,933名

(10/1現在 国土交通省調べ ※速報値のため今後増減することがある。)



常総市 鬼怒川左岸  
(豊水橋付近)積み土のう



八千代町 鬼怒川右岸  
(高崎地先)月の輪工、積み土のう



宇都宮市 田川左岸(関堀町地先)  
改良積み土のう(土留鋼板使用)



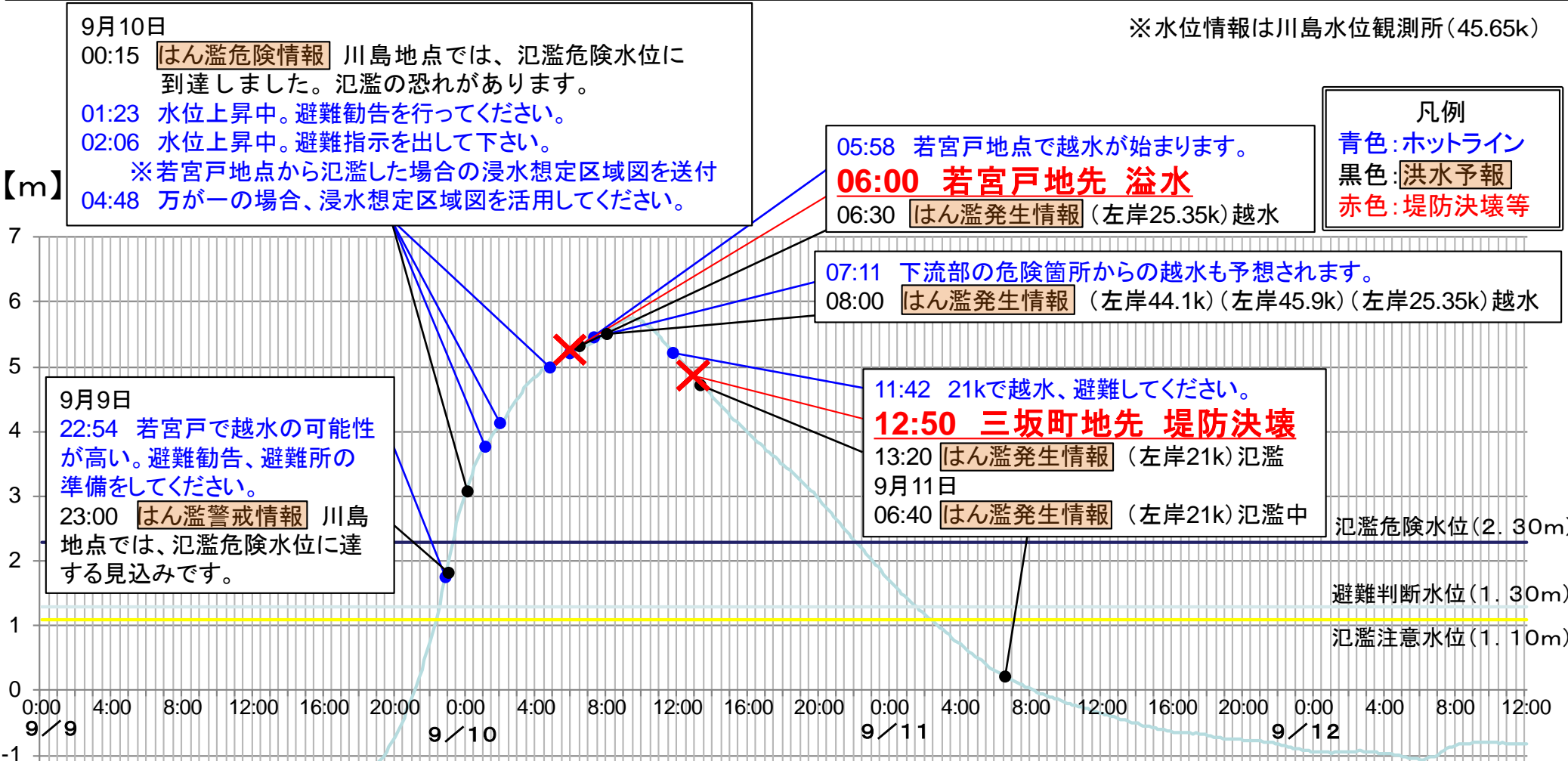
大崎市 吉田川  
(鹿島台地先)月の輪工法





# 洪水予報及びホットラインによる情報提供

○ 河川水位の状況や今後の見通しに関する洪水予報を行うとともに、下館河川事務所長から常総市長へ、ホットライン(電話連絡)により、水位等の河川情報を提供した。



# 常総市からの避難

- 鬼怒川の堤防決壊・溢水を受けて、多数の避難者が発生した。
- 交通渋滞により、市内の避難場所への避難が困難となったことから、隣接市に依頼し、避難場所を設定した。



避難者数 1,786人  
市内 840人  
市外 946人

(9月18日11時現在)

茨城県災害対策本部10月7日16時以前の  
報道発表資料より常総市関連を抜粋

- : 避難場所(常総市)
- : 市外避難場所(下妻市、つくば市、つくばみらい市)
- △ : 市外避難場所(坂東市、守谷市)※
- : 浸水範囲

※常総市民が自主避難したことにより開設